



2014年総合科(理系)第2問

2 四面体OABCにおいて  $\vec{OA} = \vec{a}$ ,  $\vec{OB} = \vec{b}$ ,  $\vec{OC} = \vec{c}$  とする.  $|\vec{a}| = |\vec{b}| = |\vec{c}| = 1$ ,  $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{2}{3}$  が成り立つとき,  $\vec{a} \cdot \vec{c} = \alpha$ ,  $\vec{b} \cdot \vec{c} = \beta$  として次の問いに答えよ.

- (1)  $s, t$  を実数として  $\vec{OH} = s\vec{a} + t\vec{b}$  と表される点Hを,  $\vec{CH}$  が  $\vec{a}$  および  $\vec{b}$  と垂直となるようにとる. このとき,  $\alpha, \beta$  を  $s, t$  の式で表せ.
- (2) 三角形ABCの重心をGとする. (1)の点Hに対して,  $\vec{HG} = \frac{1}{3}\vec{c}$  となるとき,  $\alpha, \beta$  の値を求めよ.
- (3)  $\alpha, \beta$  が(2)で求めた値をとるとき,  $|\vec{CH}|$  の値を求めよ.